

大きい数のわり算（2けた÷1けたのわり算） をわかりやすく解説

大きい数のわり算の考え方

2けた÷1けたのわり算のうち、「 $12 \div 3$ 」のような、九九を使って答えをもとめることができるわり算なら、これまでに勉強してきたね。

「大きい数のわり算」では、「 $69 \div 3$ 」のような大きい数のわり算が出てくるよ。

大きい数のわり算は、ふだんの生活でもつかう場面がよくあるよ。
たとえば、次のような場面。

- ・きゅうりが2本で88円だったとき、1本は何円だろう？
- ・99円のおかしを3人でお金を出し合って買うばあい、1人は何円はらえばいいのかな？

電たくでも計算できるけれど、パツと計算できた方が便利だし、かっこいいよね。

「 $69 \div 3$ 」は、どうやって答えをもとめたらよいだろう。
これまでのように九九を使って考えると、3の段は一番大きい数でも「 $3 \times 9 = 27$ 」だから、 $69 \div 3$ は大きすぎて答えをもとめることができないね。

大きい数のわり算をするときは、「位ごとにわけてわり算」すればいいんだよ！

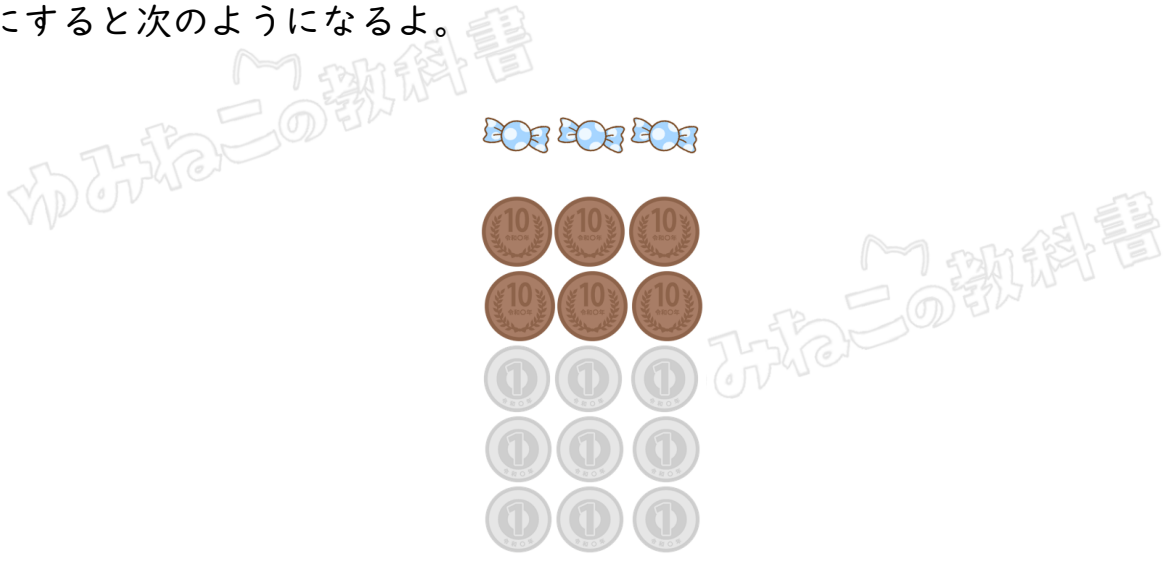
さっそくやってみよう。



3こで69円のアメがあります。アメ1こはいくらですか。

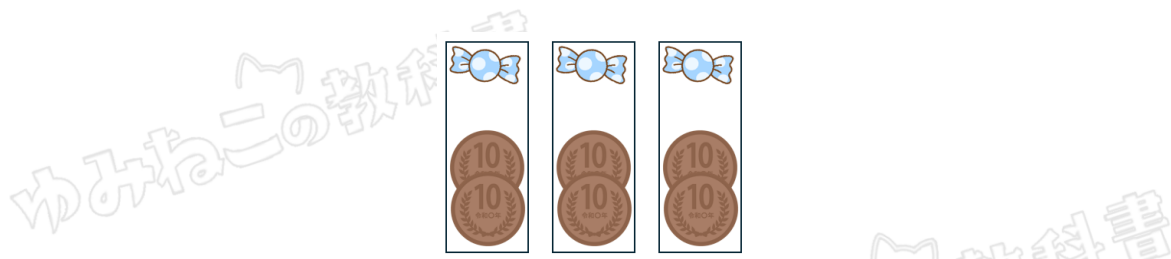
3こで69円なのだから、1こ分のねだんをもとめるには「 $69 \div 3$ 」を計算したらいいね。

図にすると次のようになるよ。



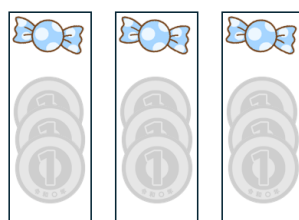
まずは十の位の「60円」に注目しよう。

60円を3こでわけるから、1こは $60 \div 3 = 20$ 円だよ。



つぎに一の位の「9円」に注目しよう。

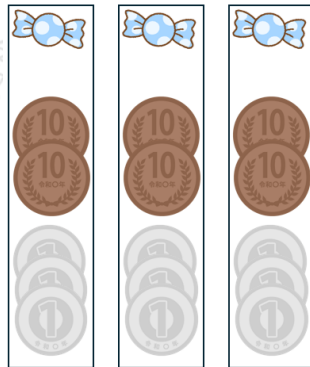
9円を3こでわけるから、1こは $9 \div 3 = 3$ 円になるよ。



十の位のわり算でもとめた答えと、一の位のわり算でもとめた答えを合わせると、

$$20 + 3 = 23$$

アメ！このねだんは23円ともとめることができたね。



今、どういう風に計算したのかをおさらいしよう。

69を「60」と「9」にわけて、それぞれを「3」でわったんだよね。

$$\begin{array}{r}
 69 \div 3 \left\{ \begin{array}{l} 60 \div 3 = 20 \\ 9 \div 3 = 3 \end{array} \right. \\
 \hline
 \text{あわせて} 23
 \end{array}$$

大きい数のわり算をするときは、位ごとにわけてから、わり算するといいいね。

大きい数のかけ算（2けた×1けたのかけ算）のやり方と同じだね。



大きい数のわり算の練習

84 ÷ 2 を計算しましょう。

84 を位ごとに分けると、「80」と「4」だよ。それぞれを「2」でわってみよう。

$$\begin{array}{r}
 84 \div 2 \quad \left\langle \begin{array}{l} 80 \div 2 = 40 \\ 4 \div 2 = 2 \end{array} \right. \\
 \hline
 \text{あわせて} 42
 \end{array}$$

84 ÷ 2 = 42 ともとめることができたね。

96 ÷ 3 を計算しましょう。

96 を位ごとに分けると、「90」と「6」だよ。それぞれを「3」でわってみよう。

$$\begin{array}{r}
 96 \div 3 \quad \left\langle \begin{array}{l} 90 \div 3 = 30 \\ 6 \div 3 = 2 \end{array} \right. \\
 \hline
 \text{あわせて} 32
 \end{array}$$

96 ÷ 3 = 32 ともとめることができたね。



大きい数のわり算の文章問題

きゅうりが2本で88円で売られています。1本のねだんは何円ですか？

1本の値段をもとめるには、 $88 \div 2$ を計算したらいいね。

88を位ごとに分けると、「80」と「8」だよ。それぞれを「2」でわってみよう。

$$\begin{array}{r}
 88 \div 2 \quad \left\langle \begin{array}{l} 80 \div 2 = 40 \\ 8 \div 2 = 4 \end{array} \right. \\
 \hline
 \text{あわせて} 44
 \end{array}$$

$88 \div 2 = 44$ だから、きゅうり1本のねだんは44円ともとめることができたね。

99円のおかしを3人でお金を出し合って買います。1人は何円はらえばよいのかもめましょう。

1人がはらうお金をもとめるには、 $99 \div 3$ を計算したらいいね。

99を位ごとに分けると、「90」と「9」だよ。それぞれを「3」でわってみよう。

$$\begin{array}{r}
 99 \div 3 \quad \left\langle \begin{array}{l} 90 \div 3 = 30 \\ 9 \div 3 = 3 \end{array} \right. \\
 \hline
 \text{あわせて} 33
 \end{array}$$

$99 \div 3 = 33$ だから、1人33円はらえばいいともとめることができたね。



「大きい数のわり算（2けた÷1けたのわり算）」まとめ

大きい数のわり算は、位ごとに数をわけて、それぞれをわる。

例：69÷3だったら、「60÷3」と「9÷3」にわけて計算する。

